

## 令和2年度 狭山市立西中学校 学校関係者評価表

※ 学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方針について評価する。

※ 【評価の目安】

- A：よくできている。(90%以上)
- B：概ねできている。(85%以上)
- C：あまりできていない。(70%以上)
- D：できていない。(70%未満)

領域	番号	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員から	
			評価	説明	評価	評価(文章表記)
学校運営全般	1	学校の重点目標が明確である。	A	教職員自己評価や生徒及び保護者アンケートの結果から、各項目については、それぞれ90%以上の支持があった。清掃については、教職員自己評価で、無言清掃の課題が明確になったため、来年度以降の重点指導項目として「無言清掃」に取り組んでいく。	B	・コロナ禍で手探りの中、が学校運営は多変だったろうと推察します。そんな中でも最大限にやれることをしていただいたと思う。 ・コロナ禍の中で、学校として、生徒のために取れる対策を講じていると感じるし、頭が下がる。しかし、集団という密を意識するあまり、思い通りの改善や生徒の発達・成長に向かっていないのかもしれない。 ・コロナ禍であっても目標を明確にし、達成に向けて努力していると感じます。 ・コロナ禍の中、教職員・生徒・保護者が良く頑張っていると思う。
	2	生徒は、学校生活が楽しいと感じている。	A			
	3	教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる。	A			
	4	清掃が行き届き、学校がきれいである。	A			
	5	学校の施設・設備は安全に管理されている。	A			
学習	6	教師は、生徒が興味関心のもてる授業、わかりやすい授業を実施している。	B	生徒及び保護者アンケートでは、真面目に学習に取り組んでいるとの高い評価を得ているが、生徒の学力向上には大きな課題がある。特に、授業改善と家庭学習の定着に注目し、生徒の個別学習支援の方策を講じていく必要がある。	B	・家庭で学習できる環境にない生徒をどのようにサポートしていくか。学校だけの問題ではないが、課題である。 ・これまで通りいかない授業や行事であっても、その中で楽しさややりがいを見つけられていると感じる。 ・わかりやすい授業ができていれば、生徒の基礎学力は身に付いていくはずだ。
	7	生徒は、落ち着いて学習に取り組んでいる。	A			
	8	生徒は、基礎的基本的な学力を身につけている。	C			
	9	生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。	C			
	10	生徒は、英語活動をとおして積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	A			
規律ある態度	11	生徒は、進んであいさつをしている。	A	生徒アンケートでは、それぞれの項目で90%以上の達成となっている。個人差が見られるので、今後も丁寧に指導していく。教職員の規範意識は信頼関係の基盤であるため、今後も、各種研修等を通して自覚を促したい。	B	・自転車通学者の様子を見ると、意図的にルールを無視しているとは思わないが、意識してルールを守ろうという姿勢は感じられない。 ・全体的に落ち着いて学校生活を送っているように感じます。 ・この面においては、学校での態度と家庭での態度に、多少の差があっても仕方ないと思う。 ・自転車通学者の様子は以前より良くなったと感じる。
	12	生徒は、場に応じた言葉遣いができている。	A			
	13	生徒は、時間を守って生活している。	A			
	14	生徒は、きまりを守って生活している。	A			
	15	教師は、自ら手本となり、規範意識を高めている。	A			
健康・体力	16	学校は、生徒の体力を高めている。	B	今年度は、感染症予防には高い意識をもって取組んだが、感染症予防のための制約もあり、満足な活動を保障できなかった。	B	・コロナ禍で、不活発になってしまう状況は仕方ないことと思う。 ・健康を意識した1年間だったと思う。 ・コロナ禍で、3密を避けながら、体力を向上させるのは難しかったと思う。
	17	生徒は、体育や外遊びに意欲的に取り組んでいる。	B			
	18	生徒は、健康を意識した生活をしている。	A			
地域との連携	19	学校は、教育活動に関する様々な情報を積極的に提供している。	A	学校公開の機会がもてなかったが、保護者アンケートでは90%以上の評価をいただいた。	B	・コロナ禍で、学校便り等の回覧がないため情報が少ない。 ・学校公開の機会が少なく、情報発信に苦労されたと思う。
	20	学校は、保護者や地域と連携・協力し、教育活動を行っている。	A			